

# 論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第165号	氏名	森内 昭江
学位審査委員	主査 副査 副査		
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は、アンギオテンシン受容体阻害薬、テルミサルタンによるヒトアディポネクチン遺伝子の転写制御、特に PPAR の関与について研究したもので、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 ヒトアディポネクチン遺伝子のプロモーター領域および古典的 PPAR ガンマ反応塩基配列で制御されるルシフェラーゼベクターを作製し、3T3-L1 脂肪細胞、HEK293 細胞に遺伝子導入し、テルミサルタンや類似薬剤、拮抗剤を投与し、ルシフェラーゼアッセイにより転写活性を計測した。これらの研究手法は妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、テルミサルタンによるアディポネクチン遺伝子転写促進作用は PPAR ガンマ非依存性であり、PPAR<math>\alpha</math> の関与を示唆した点は、今後、メタボリックシンドロームの新たな治療法につながることを期待され、高く評価できる。</p> <p>以上のように本論文は代謝疾患研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			